

ホタル観賞ツアー

1, 趣 旨

参加者同士の交流を図りながら、昆虫の生態や自然の素晴らしさを体験させるとともに、環境問題の意識向上を図る。

2, 期 日

平成26年7月11日（金）・12日（土）各日帰り

3, 主 催

北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル森

4, 参加対象

どなたでも

5, 参加実績

11日（金）人数23名

12日（土）人数44名

6, プログラム内容

	18	19	20	21	22
	受付 18:00~	開会式 （バス乗車） ツアー出発 現地到着	ホタル鑑賞	（バス乗車） ネイパル着 ツアー終了 閉会式	解散 21:40

7, 活動の様子

今年度は、雨の心配もされましたが、幸い雨が降ることもなく、7月11日（金）・12日（土）の2日間、親子連れが大半の中参加者67名により、ホタル観賞会が落部川上流の地域で実施されました。

ネイパル森での開会式のあと、参加者はバスに乗り、ホタル観賞ツアーに出発しました。現地到着までのバスの中では、ネイパル森職員による、ホタルが卵から成虫になるまでの生態についての説明やクイズ・ゲームなどをしたり、「ほたるこい」を歌いながら参加者同士の交流を図り現地に到着しました。

バスを降りて、薄暗い道を歩いて進み、数十分後観賞ポイントに近づき、真っ暗になると木々の間や草むらの中から数百匹の小さく光るホタルが飛び交い、自然の中の美しさに触れることができました。

参加者は、大変感動した様子であり約1時間の観賞も無事に終わり、バスは、落部川をあとにし、帰途につきました。



8, 参加者の声

- ・ホタルが、とても綺麗で感動した。
- ・子どもに見せてあげられてよかった。
- ・近くで見ることができ感動した。
- ・綺麗な環境を守る大切さを改めて感じた。



9, 事業の分析と考察

ホタル観賞ツアーの主旨は、「参加者同士の交流を図りながら、昆虫の生態や自然の素晴らしさを体験させるとともに、環境問題への意識向上を図る。」である。このことから、現地までのバス移動中において、ホタルの生態について楽しく学べるようにと、ホタルが幼虫の頃から発光することや、なぜホタルは発光するのか。ホタルはカワニナ（蛍の幼虫の餌）という貝を食べている、カワニナは綺麗な川に生息している等をクイズ形式で説明した。

ホタル観賞の際には、ライトをむやみに付けないことや、川の周りを歩かないことを参加者同士で声を掛け合う姿がみられた。また、大人の参加者は、昔は田んぼの周りを歩いているとホタルが飛んでいたことを懐かしみ、こどもたちは、昔は当たり前ホタルが飛んでいたことを興味深そうに聞いていた。

参加者の声のとおり、昆虫の生態や自然の素晴らしさを体験させるとともに、環境問題への意識向上が図られたと考える。

10, 成果と課題

○成果

- ・子どもから大人まで幅広い参加者にホタルの生態等を近傍で観賞することができた。
- ・自然環境の中での生息の素晴らしさを体験させることができた。
- ・事故もなく終了することができた。
- ・職員ジャンパーを着用することで暗闇でも、参加者が職員を見分けるのに役立った。

▼課題

- ・事業実施日を確定するのが、7日から10日前位になり、広報活動は、主に口コミによるものであった。より、幅広く参加者を募るために、広報の仕方を工夫する必要がある。